

園芸市始まる

電信通り商店街

帯広電信通り商店街振興組合(長谷渉理事長)主催の「花ば咲かせよ園芸市」が21日、同商店街の「惣菜・ごはん屋でんしん」横の駐車場(東2南6)でスタートした。6月3日までの毎週金曜日曜の午前10時午後2時、花の苗や野菜などを販売する。

同組合のテーマである「高齢者や障がいのある人との協働・共生」を目的に、地域の高齢者らに花で明るい気持ちになってもらおう



人気を集めている園芸市

と開催しており、今年で7年目。地域生活支援事業などを行う社会福祉法人・慧誠会(帯広)運営の「帯広生活支援センター」が受託する市の自立相談支援事業の利用者16人が交代で販売を担当する。

初日はパンジー(1株80円)のほか、タマネギやイモなどの野菜(1袋100円)を販売。近隣の人たちを中心に足を止める姿も見られた。

同組合の高橋正章専務は「5月には花苗や野菜の種類も増える。ぜひ、足を運んで商店街も歩いてほしい」と話している。

5月21日午前10時から特別イベントとして、畜大牛乳の無料試飲会を行うほか、買い物客には苗と肥料の小袋を先着各50人に贈呈する。
(佐藤いづみ)